

# 図書館だより 第38号

## 鹿児島国際大学附属図書館報

The International University of Kagoshima Library

### 目次 Contents

- 本の話いろいろ 小川 英司 ..... 2P
- 空間としての図書館の魅力  
ラブルーストによる二つの歴史的図書館 中尾 康朗 ..... 3P
- 図書館サポーター活動報告 ..... 4P
- Library Report ..... 5~ 8P





## 本の話いろいろ

図書館長・経済学部教授 小川 英司

### ペーパーナイフについて

ペーパーナイフというものをご存じだろうか。知っているにしても使い道はいつこうにわからぬというのが大方だろう。これはフランス装という本の作り方にかかわる。フランス装の本は一頁一頁印刷するのではなく、大きな紙に数頁いっぺんに印刷してこれを四つ折りなどにして綴じたものだ。だから、本の上側を見ると、二頁ずつつながったままなので、これを切り開かねば読書ができない。この際に使うのが件のペーパーナイフというわけである。いまは知らないがかつてのフランスの愛書家たちは本は必ず二冊づつ購入し、ひとつはナイフを入れつつ熟読玩味し、ふたつめは専門の装丁業者に依頼して自分好みの豪華なものにしつらえて書棚をかざったそうである。本の楽しみにもいろいろあるものだ。だからフランス装の本はいたってシンプルであって、最初から丁寧に作りこまれている日本の書籍とはまったく別物である。

### 摘要について

いまのわたしたちの勉強スタイルは、修学上研究上不可欠な書籍は自腹で購入し、重要箇所には線を引いたりコメントをつけたりして、いわば本そのものを自分のものにしていくようなやり方だ。だが、かつての欧州では本は非情に高価なものであり、研究上必要な図書を全部購入するなどまず無理で、だから図書館に通わざるをえない。線を引きたくなる箇所にてくわしてもそうしたら器物損壊になるのでノートを持ち込んでそういう箇所を写していくのだ。これを一冊通してできたものが摘要である。高名な学者になると、当人の著作だけでなく他人の本を読んでつくった摘要が出版されることさえある。このスタイルをかつてやったことがあるが、線を引くより数段労力があるが、内容が頭によく入るし、残ったノートも研究上の財産になった記憶がある。学生諸君もためしてみたら。

### ハードカバーとペーパーバックについて

主に英米の書籍はハードカバーとペーパーバックの二種類が出版される。紙も版型もまったく同じなのに前者と後者の価格比は倍以上である。もちろん、前者は糸で綴じてあり後者は接着剤でくっつけただけという違いはあるが、いったいこの差別待遇はどこからきたのだろうか。表紙と裏表紙が固いかどうかだけで装丁もあまりかわらない。これもただ読むだけの本と書棚をかざるものとの区別というか差別が当然視されている結果だろう。古いアメリカ映画を見ると中産階級以上の家にはかならず書斎というものがあって、これが来客などあったときに自慢のたねになったりするのだろう。ただ教養のない成金がこれをやろうとしても途方にくれるだけだからこうしたことをする業者もいたのだろうか。最近通販のサイトで鋳物かなにかで作りこんだ背表紙だけの飾り棚を見かけたが、こういうスノビズムもそれなりに進化というか頹廃というかするのでと感心したものだ。若い時にアメリカの学生は小説などのペーパーバックをいくつかに裂いて持ち運ぶんだ、という本当か嘘かわからないような話を聞いたが、読めればよいのだという思想にもとづけば、なにも憤慨することもないだろう。日本の書籍は値段もやすいが装丁もそれなりに気配りが利いているので、もちろん、裂くにはしのびないが。





## 空間としての図書館の魅力

### ラブルーストによる二つの歴史的図書館

国際文化学部准教授 中尾 康朗



サント・ジュヌヴィエーヴ図書館の閲覧室  
 鑄鉄製の柱のデザインが美しい

2017年フランスで開催された国際会議に参加した際にかねてより関心のあったパリの歴史的な図書館に立ち寄る機会があった。今回見学した二つの図書館、サント・ジュヌヴィエーヴ図書館とフランス国立図書館リシュリュー館について紹介したい。両館に共通するのは設計者アンリ・ラブルースト。19世紀フランスを代表するこの建築家は、当時建築資材の主流となってきた鉄を図書館建築に使い古典的な石造りの図書館との調和を図ったことで評価されている。

ラブルーストは1850年にまずサント・ジュヌヴィエーヴ図書館を手がけている。パリの5区、パンテオンの北側に位置する図書館は広場に面した細長い敷地に建つ図書館だ。薄暗い一階のホールを抜け二階に上がると長さ80メートル余りにも及ぶ吹き抜けの閲覧室が目に飛び込んでくる（上図）。壁面には書架が設置され階段を通じて回廊部分へと通じており、上部の窓から光を取り入れている。この閲覧室を特徴づけているのは何と言っても柱だ。閲覧室の中央に二列のアーチ状に並ぶ鑄鉄製の柱には独自のデザインが施されており古典的な中にもモダンさを感じられる。もともとは修道院図書館であったが現在はパリ大学に所属し公開図書館としての役割を担っている。大学街に位置していることもあり閲覧室は学生

が多く活気に満ちていた。この図書館の建築様式は後にアメリカのボストン公共図書館などにも影響を与えたとされている。

一方、フランス国立図書館は複数の図書館で構成されている。パリ2区にあるリシュリュー館は長く中央図書館の役割を担ってきたが13区にあるフランソワ・ミッテラン館に資料の中核が移ったあと現在は主に研究者向けのサービスを行う。ラブルーストがサント・ジュヌヴィエーヴ図書館により名声を得た後、二十年の歳月を費やして1868年に完成させたのが同館の大閲覧室であった。リシュリュー館は2010年から長期の改修工事中で訪問時も中庭に工事事務所が設置されていたが、幸い大閲覧室は2017年1月に改修が終わったばかりで見学することができた（下図）。大英博物館の円形大閲覧室を参考にしたとされる閲覧室はアーチ状の9つの天窓付き丸天井からやわらかく明るい光が降り注いでいた。高い閲覧室を支える圧倒的な鉄柱の存在感はサント・ジュヌヴィエーヴ図書館との類似を強く感じさせる。

両図書館の閲覧室ともIT環境は整備されている。現代の図書館は紙の本から電子書籍など場所を選ばない情報提供へと移りつつあるとも言えるが、それでも歴史的な図書館のもつ空間には替えがたい魅力がある。



フランス国立図書館リシュリュー館の大閲覧室  
 丸天井からやわらかな光が降り注ぐ

## 図書館サポーター活動報告《2017年度》

私たち図書館サポーターは、テーマ展示、オープンキャンパスでのイベントの企画、選書ツアー、ブログ更新等の活動をしています。最近ではビブリオバトルにも力を入れています。

ところで、図書館サポーターのブログがリニューアルしたことにお気づきでしょうか。トップページには、図書館のキャラクターしおりちゃんたちがお出迎えして、明るく華やかになりました。ここに挙げた活動については「鹿児島国際大学附属図書館サポーターブログ (<http://iuk-plus.net/supporter/>)」に掲載しているものもありますので、ぜひのぞいてみてください。

図書館サポーターは随時募集しています。ブログを見て図書館サポーターの活動に興味があった方、何はともあれ本が好き、図書館が好きという方、ぜひ一緒に図書館を盛り上げませんか？



- 4月 ☆ 新入生勧誘
- 5月 ☆ テーマ展示  
「こどもの日」「5月生まれの作家」  
☆ 選書ツアー
- 6月 ☆ テーマ展示  
「映画化」「花嫁・結婚式」「6月生まれの作家」
- 7月 ☆ テーマ展示  
「星・星座」「伝承・神話」「7月生まれの作家」  
☆ ビブリオバトル  
☆ 第1回オープンキャンパス  
サポーター企画イベント  
・「クイズラリー」「地下探検」「ビブリオバトル」  
・サポーター紹介リーフレット配布
- 8月 ☆ 第2回オープンキャンパス  
サポーター企画イベント  
・「クイズラリー」「地下探検」  
・サポーター紹介リーフレット配布  
☆ テーマ展示  
「怖い話」「8月・9月生まれの作家」



- 10月 ☆ テーマ展示  
「読書」「10月生まれの作家」  
☆ 第3回オープンキャンパス  
サポーター企画イベント  
・「クイズラリー」  
・サポーター紹介リーフレット配布  
☆ 選書ツアー
- 11月 ☆ テーマ展示  
「仕事」「いい夫婦(11/22)の日」「11月生まれの作家」
- 12月 ☆ テーマ展示  
「クリスマス」「大掃除」「12月生まれの作家」

# Library Report



## オーディオルームだより

最近、オーディオルームでも、学科選定で購入した音楽関係の図書が増え、既存の書架が一杯になってきたところでしたが、6月に書架が追加されました。

新しく購入した音楽関連の図書、今まで別室にあったミニチュアスコアや、世界最大級の音楽事典、美術事典など音楽に関する研究に役立つ図書資料を、すぐ利用できるようにオーディオルームに移動させました。別室に取りに行く時間のロスもなくなり、また、利用者が自分で探せることにより、関連する資料や楽譜を見つけることもあり、より音楽に関する知識の幅を広げる一助になったのではないかと思います。

これからも、演奏のヒントや、音楽の研究に役立つ資料を収集していきたいと思います。



オーディオルームの開室時間が、図書館HPで見ることが出来るようになりました。

「図書館HP」の「開館案内」にあります。また、臨時の休室や閉室時間の変更がある場合は、掲示や図書館HPに掲載しますので、ご確認ください。



# Library Report

## 電子ブックが入りました

今年度、約400タイトルの電子ブックを受け入れました。図書館HPから次の要領で利用できます。電子ブックは学内のみの利用となり、1冊につき1アクセスとなります。また、読み終わったら、画面右上にある「Exit」または「閲覧終了」をクリックして終了してください。

これからも電子ブックを入れる予定ですので、どうぞご利用ください。

① 「電子ブックを利用する」をクリック



② 「NetLibrary」または「MARUZEN eBook Library」どちらかのプラットフォームを開いて検索



※ 「MARUZEN eBook Library」の利用案内はプラットフォーム内画面右上にあります。

OPACでは電子ブックのみを検索することはできませんが、検索結果に「電子ブック」の表示があるものは電子ブックでの所蔵があるものです。

① OPAC画面でタイトル等を入れ検索



② 検索結果の「電子ブック」をクリック



③ 「詳細表示」をクリック



④ 「接続URL」をクリック



## Library Report



### 職場体験実習がありました

1月31日から2月2日の3日間、鹿児島市立和田中学校の職場体験学習があり、中学2年の男子生徒2名が受入業務、目録データの登録、カウンター業務等を体験しました。

図書館で普段何気なく手に取ったり、借りたりしている本ですが、見えないところで色々な業務が行われていること、返却された本を書架に並べたり、新聞の整理や書架の本を整えたりと、意外と力仕事、動き回る仕事が多いことなど、新たな発見があったようです。

初日は緊張してぎこちなかった生徒達も、3日間という短い期間ではありましたが、学校の勉強とは違う体験をとおして、一回り大きくなったようです。この職場体験実習が今後皆さんのお役にたてれば幸いです。お疲れ様でした。



### データベース

図書館では、授業や研究等に役に立つデータベースを入れています。web of Science、ProQuestなど学内のみ利用できるものの他、学外でも利用可能なデータベースもあります。データベースは、図書館HPから検索できます。

4月以降、

- ・医学中央雑誌
- ・ナクソス・ミュージック・ライブラリー
- ・Web Oya-bunko

新しく3つのデータベースが加わる予定です。レポート、論文の作成、就活等にお役立てください。

また、図書館ではデータベースの利用説明会を随時行っております。事前にポスター等でお知らせしますので、お気軽にご参加ください。

The screenshot shows the library's website interface. At the top, there's a navigation bar with links for '大学紹介', '学部・大学院', '入試情報', '図書館', '学生生活', '留学・国際交流', '就職情報', and '地域連携・研究'. Below this is a search bar with a '検索' button. A large image of the library building is featured. To the right, there's a '図書館' (Library) menu with options like '利用案内', '入館時間', '利用案内', '休館日', '蔵書について', '蔵書の確保について', '利用案内', '蔵書案内', and '開館案内'. A 'TOPICS' section is also visible. A red box highlights the '詳細検索' (Advanced Search) section, which includes links for '図書館資料を探す・利用する', 'その他の情報検索', '電子ブックを利用する', '学外の本や雑誌を探す', '出版社や書店の本を探す', '新聞記事を探す', and '学術論文を探す・利用する'. At the bottom, there's a 'お問い合わせ' (Contact Us) section with an email address: 'library@iuk.ac.jp'.

## Library Report

### 平成29年度文部科学大臣委嘱司書講習

平成29年度文部科学大臣委嘱司書講習が平成29年7月18日から9月20日の約2か月間行われました。鹿児島県内の他に、宮崎、熊本、福岡から、年齢も、職業も様々な受講生が司書資格取得を目指して集いました。真夏の約2か月間、日曜日とお盆以外は朝から夕方までの授業、各教科の最終日の試験やレポート提出、台風接近のため8月7日の授業を8月11日に振替えて行うなど、今年もハードスケジュールを余儀なくされましたが、30名が司書資格に必要な単位を取得しました。

この講習で学んだことを基に、ますますの活躍を期待いたします。



### 平成29年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修会・講演会が開催されました

平成29年12月4日、「平成29年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修会・講演会」が、本学図書館4階視聴覚ホールで行われました。

研修会では、鹿児島純心女子大学附属図書館の岩永眞佐子氏による「第33回医学情報サービス研究大会」参加についての報告がなされました。休憩をはさみ、NPO法人大学図書館支援機構副理事長 高野真理子氏による「目録情報と図書館員に求められるスキル：利用者と情報の架け橋になるには」についての講演がなされました。研修会には、鹿児島県大学図書館協議会加盟館員16名、講演会には、鹿児島県大学図書館協議会加盟館員や鹿児島県内大学の教員他25名の参加がありました。

講演会後の情報交換会では、大学の垣根を越え親睦を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。



#### 編集後記

今年は明治維新から150年。図書館でも『西郷隆盛とゆかりの人々―「西郷どんってどげな人？」』というテーマ展示を1月末まで行いました。年末ごろから西郷や、幕末の薩摩藩、鹿児島を扱う番組等が増えたように思います。これを機に西郷、明治維新を色々な角度から眺めてみるとのも面白いかもしれません。これからも、色々なテーマ展示を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

図書館だより－鹿児島国際大学附属図書館報－ 第38号 2018年2月28日発行

鹿児島国際大学附属図書館 〒891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1

TEL:099-263-0732 FAX:099-261-1198 E-mail:tosyokan@ofc.iuk.ac.jp

(URL) <http://www.iuk.ac.jp/tosyokan/index.php> (携帯URL) <http://lbweb.iuk.ac.jp/nbp/>